

東北でみつけた音・・・「第6回 東北アコ・ジャンボリー」より  
2018年6月16日（土）～17日（日）



宿泊先（パレス松洲）より海岸を望む

### ■初日（6月16日）の様子

宿泊先の送迎バスを利用する参加者たちは、仙台駅東口集合場所に、午後1時半を回ったころからが集まりはじめました。実行委員長、遠藤勇さんの出迎えを受け17名の楽器と荷物でバスは一杯に、およそ1時間バスに揺られて1日目の会場（パレス松洲）に到着。海岸の堤防が想像していたよりずっと低かったのは意外でした。

受付を済ませ、懐かしい顔を見つけてはあちらこちらで挨拶やら談笑が始まった。

### ■午後4時からオリエンテーション&ワークショップ

オリエンテーションでは、遠藤勇実行委員長挨拶、進行係、舞台監督などスタッフが紹介され、25団体が演奏すること、遠くから来ている方の帰りの時刻厳守もあるので明日本番の進行にご協力下さいと注意事項や報告などがありました。

#### ワークショップ



講師：水落昌宏氏・・・出身は新潟県です。

私のアコーディオン歴は長くて二十歳から始めました。

今はクラブツーリズムと契約していて、これは「懐メロをうたおう会」、あとはよみうり文化センター、これも平成15年から続いています。

初任給が2万円の時代、エキセルシャ940が36万円でした。高くて買えなかったのが質屋で中古を手に入れて、その頃は伴先生の「アコーディオン独習」というのがあってそれで練習していました。

クラブツーリズムでやっているのは、リクエストが来るとプロジェクタの画面に歌詞が映し出されるんです。それからが私の仕事で、皆さん歌おうと思っていますから演奏を始めなければならない。譜面をいちいち探す時間もない。そういう世界です。

そんな自己紹介の後、資料として配られた譜面「夏の思い出」他4曲を例に実演しながらの講座でした。

#### 《講座の一部紹介》

「夏の思い出から」・・・ニ長調の譜面で、これが歌いやすいようです。4小節が前奏で、ここはしっかり弾きます。この曲は思い出ですから前奏の最後はそんなに強くしなくてもいいと思います。それで歌に入ったら少し弱めにといいかね、私の場合は右手で和音を弾いたりします。右をコードで取ると歌い手は歌いやすいと思います。

この譜面は「Andante」ですから、まあ、歩く速さでぐらいですね。道を歩いている、そんなふうに私はやっています。



■質問・・・伴奏のときのスイッチは何を使っているのでしょうか。

◎講師・・・70人ぐらいの中で立って弾いているのでマスター（全開）で大きな音でやっています。僕もそうですが、譜面を見ると難しいところが必ずあるんですよ、そうすると、そのところは音が小さくなるんですね。そうじゃなくて間違えやすいところは音を大きく出すんです。

私の場合は、譜面を見て1回両手でやってみる。で、難しいところはどうしても引つかかる。そこは鉛筆で囲むんです。“ここは良く練習するところ”という印です。必ず3カ所か4カ所出てくるので、そこだけ時間を掛けて練習すればいいんですね。最初からやるのは無駄じゃないですけども時間がかかるのでね。



短時間で効率よく練習するには、丸く囲ったところを、メトロノームを使って少しテンポを落として丁寧にや

って、で、明日は少しテンポを上げてみるとか。あとは、右だけやる、あるいは左だけやる、そうして両手を合わせる。そうすると早く覚えるようです。

あと、私の場合、練習を30分もやるともう他のことをやっています。例えば、木刀を持って素振りをしたり、気分転換です。そうしてまた新しく練習を始める。個人差はあるでしょうけれども、集中力が無くなってくるんですね。弾きながら明日何があったっけとか他のことを考えちゃうと練習にならないのでね。

■質問・・・その対象によっても、場所によっても違うと思うんですけども、前奏とか間奏とかで、2小節でやる場合、4小節で歌に入る場合8小節でとかあるけれども何か基本にしていることはあるのでしょうか。

◎講師・・・歌声喫茶っていうのは歌うのが目的で集まってくるんですね。そうすると1曲がどんどん早くなっていくんです。それで、間奏なしとかになる。私の場合は間奏を入れて欲しいという場合もあるので一応書いてあるんですけども、例えば4番まで歌う場合は、2番が終わったら間奏を入れた方がいいでしょうね。そうしないと歌い手も苦しくなってしまうので、あと、何も書いてなかったら、その曲の最後の4小節を前奏として使えばいいですね。おうむ返しになりますけども、その時々で臨機応変にやります。

■質問・・・高齢者の前で伴奏するときどンドンずれていくときがあるけれども、うたに合わせた方がいいのか、テンポをキープした方がいいのか。

◎講師・・・横森良三さんがこんなことを言っています。お客様を喜ばす伴奏をしないとね。例えばのど自慢で鐘が1つなつた。そうすると私の伴奏が悪かったっていうんですね。私も老人ホームへ行くんです。歌は遅めですよ。少しぐらいずれちゃうのは仕方がないことですよ、かまわない。そう思って私はやっています。



明日の天気とアコーディオンと皆さんの健康をお祈りして、乾杯！



《自己紹介の中から》

歳を重ねても頑張ろうという気持ちになっています。今日の話はためになるし、一生懸命吸収して自分の力にしていきたい。(アコネット福島)

私もハーモニカを吹いて 70 年になります。お陰様でこの仙台で 50 曲のリサイタルを開くことになっています。健康は何よりも幸せですね。

トンボ楽器製作所から来ました真野と申します。今回は 1 台 100 万円を超える楽器を何台も持ってきました。特別に試奏していただきます。弾き放題です。是非弾いてみてください。

遠藤さんが三多摩教室に入られたのは何年前だったかな、そのときはクラリネット奏者としてアコーディオンを始めました。

石川県から来ました。関東アコ有志の仲間に入れていただきました。周りに仲間がいないので合奏できるのがすごく嬉しい。

そして間もなく仙台に帰られ、ほどなくして、“仙台で東北のアコーディオン仲間を集めてアコーディオンジャンボリーをやりたい”とこちらに話が来て、「じゃあみんなで協力しなきゃ」と行ったのが第 1 回でした。私も石巻生まれなんです。疎開のときに生まれて、小学校に上がる前までいました。

先日、大阪のビバに行ったとき、大阪の人からも是非参加したいと言われました。それがすごく嬉しかった。

毎回アコーディオンジャンボリーには来ているので分かるんですけども東北魂というかね、遠藤さんにいつも感じています。

アコネット福島は現在 14 名でやっています。今日は 7 名で参加しました。始まったとき女性は 2 人でしたが現在 5 名になりました。若い生徒も増えてととても力強いアコネットになりつつあります。

アコネット福島から参加しました。退職してから仲間に入れていただきました。小、中学校と一番さぼったのが音楽でした。仲間の足を引っ張らないようにと練習しています。自分で弾いて歌うことができるとやっていると良かったと思えると思うので弾き語りを目指します。

初めての参加です。仙台から来ました。お晩です。4 年前に主人がアコーディオンを始めたいと言われて、「じゃあやったら」と言ったんですけど、なぜか私もやることになり掃除もしないで練習しています。ベローイングができなくて今も悩んでいます。

遠藤さんの人柄に引かれて実行委員を引き受けました。小学校の教員になったけれどもピアノは弾けなくて、アコーディオンでうたの伴奏をやっていたんです。ですから子どもたちが私の先生です。大震災のときに東京の 67 才の 1 人暮らしの女性からアコーディオンを被災地に送りたいという話がありまして東京まで取りに行ったんです。彼女の条件は被災地で弾くことだけ、お礼は一切受け取らないんですね。それでこの楽器は 40 年ぶりに音を出したんです。



◀説明の楽器

アコネット福島の歴史は古いんですけれども、私は所属してまだ5年ぐらいですかね。私、81でございます。(ほおー、の声) 長生きの秘訣は、音楽に親しんで歌を歌ったり老人ホームへ行って歌声喫茶やったり他人のためになることをやることですよ。

昭和30年代でしたので全国どこへ行ってもアコーディオンの教室はあまりなかった。けれども就職した地域に神戸新聞社主催で、アコーディオン、ピアノ、踊り、ギターとか趣味のグループがありまして、そういうところで勉強しました。そこで、NHK ののど自慢で演奏している人とか、レコード会社のアコーディオン奏者とかにお会いできて、「こんなおもちゃみたいなものじゃだめ」って言われ、楽器屋さんに入れていかれて、今でいうエクセルシャの400番、当時10万円近くしたんです。月給が4千円、5千円の時代です。非常に厳しかったですがそれを買えば会社の寮で宴会があると弾いていました。転勤があるとそのたびに演奏して、海だ、山だ、キャンプファイヤーもあって、少しずつ覚えていきました。

■残された時間は30分程度でしたが、飛び入りで幾人かが舞台上で演奏しました。



ボランティアで弾く曲を練習がてら弾きます。とベギー葉山さんの「学生時代」を演奏。(石川さん)



小さいディアトニックアコーディオンを弾いてみます。とパフォーマンスしたのは石巻から参加の千田さん。(写真左) こんなに小さいと音が出ないと思うでしょう(出ません)。(笑)で、こんなふうに弾きます。(口にリードを加え楽器は動かすだけ「カエルのうた」のパフォーマンスでした。(右)



北上川のほとりで生まれ、泳いでいたという石垣さん  
「北上夜曲」「世界は二人のために」を演奏。



今でも5万人の方が帰らずにいます。そういう想いを届けたい。「ふるさと浪江」を弾き語りで演奏する二本松から来られた石川さん。

♪ふるさと離れ とおくへきたよ ふるさとはいい けれど帰れない 帰りたいな わがふるさとへみどり豊かなあの町へ ああ夢に見るよ ふるさと浪江(歌詞は3番まで)



二次会で「ラ・クンパルシータ」を弾く和田さん



♪水の流れに と「千曲川」を歌う佐藤さんご夫婦



「見上げてごらん夜の星を」を皆さんで歌い、明日の本番に向けて眠りにつきました

写真で見る本番の様子（6月17日）

第6回 東北アコーディオンジャンボリー 会場：松島町文化観光交流館 13時開演  
 後援 NPO 法人日本アコーディオン協会・河北新報社・松島町教育委員会・松島町医療生活協同組合・  
 (公財) 仙台市市民文化事業団・(株)トンボ楽器製作所



司会 清水さん（左）石垣さん（右）



1番 アンサンブル0. (オクテット) 仙台  
 ピアノ・アコーディオン/クラリネット・尺八・ハーモニカ・ホルネット・ベース  
 演奏曲「真っ赤な太陽」「荒城の月」

2番

3番

5番 (4番は欠場)

6番



佐々木忠雄さん 一関  
 「オリーブの首飾り」他  
 7番



石橋友子さん 東京  
 「収穫の歌」



荒川一美さん 山形  
 「古い朝鮮の歌曲」



清水節子さん 石川  
 「ジョリー・キャバレロ」  
 8番



アコネット〜f〜(福島) 合奏「ふるさと〜春から秋〜」「赤い靴」  
 9番 10番 11番



プチ・マルカート 東京  
 「虹の彼方に」「アマポーラ」



渡辺美代さん さいたま  
 ラポー／セレナーデ



本田尚久さん (バスアコ) 横浜  
 バッハ／チェロ組曲 第一番メヌエット



矢部重光さん 福島  
 「荒城の月」



司会  
 石橋さん

13番 1部の最後(12番欠場)



関東アコ・有志による合奏 「コラソン・デ・オロ」 指揮：池田 健 東京

14番(2部の1番)



男声合唱コーロ・リバーロの皆さん(コーロ・リバーロとは「美しい声」) 仙台  
指揮：庄司嘉明 ピアノ：永原尚子 男声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」(ふるさと／春の小川／朧月夜／鯉のぼり／茶摘み／夏は来ぬ／我は海の子／村祭り／冬景色／雪／ふるさと)

15番



フレンズ・ドリーム 仙台 ▲「千曲川」 ▲「火の鳥」



16番



岸 邦幸さん 郡山「パリの空の下」

17番



石川晃雄さん 二本松  
「ふるさと浪江」弾き語り

18番



カルテット・MIYO 東京  
シューベルト／弦楽四重奏曲 第14番ニ短調第2楽章  
19番



司会  
岡田さん



四葉のクローバー 東京  
「ウラルのぐみの木」

20番



千田康司さん 石巻  
「ジェラシー」「エスクアロ」

21番



林 博太郎さん 相馬  
「浜辺の歌」「影を慕いて」

22番 ゲスト演奏



水落昌宏さん(ゲスト) 東京  
「ラ・クンパルシータ」「鈴懸の径」



23番  
フィナーレ  
「みんなで歌い  
ましょう」

伴奏  
ピアノ/橋本さん  
アコーディオン  
水落さん  
池田さん

松島町に毎日流れる正午のチャイム「エーデルワイス」を会場の皆さんと一緒に歌って幕が降りました